

『楽屋』フェスティバルスケジュール

	12時	14時	16時	18時	20時
4月27日(水)			燐光群	シンポジウム	燐光群
4月28日(木)	燐光群	OUT老	ハイトブの会	トゥールースシェル	火のように水のように
4月29日(金)・祝	OUT老	火のように水のように	アートひかり	ハイトブの会	トゥールースシェル
4月30日(土)	perky pat presents	トゥールースシェル	ハイトブの会	OUT老	燐光群
5月1日(日)	アートひかり	ハイトブの会	トゥールースシェル	perky pat presents	火のように水のように
5月2日(月)	火のように水のように	燐光群	火のように水のように	道頓堀セレブ	さんらん
5月3日(火)・祝	La traviata company	ピクニックの恋人	道頓堀セレブ	燐光群	さんらん
5月4日(水)・祝	La traviata company	さんらん	ピクニックの恋人	朱夏	燐光群
5月5日(木)・祝	朱夏	さんらん	ママーズ	おででこ	燐光群
5月6日(金)		おででこ	燐光群	womb45	さんらん
5月7日(土)	ママーズ	燐光群	ピクニックの恋人	おででこ	燐光群
5月8日(日)	womb45	とろんぶ・るいゆ	ママーズ	とろんぶ・るいゆ	燐光群
5月9日(月)				獣神	ヒノサカの虜
5月10日(火)			ヒノサカの虜	獣神	燐光群

各公演のチケットは各団体にご予約下さい。



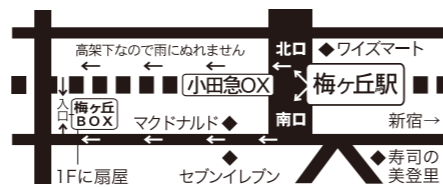
★シンポジウム
4月27日(水)18時 「清水邦夫氏を語る」
大笹吉雄 (演劇評論家)・坂手洋二 (燐光群主宰)
・本公演の前売券をお持ちの方、ご予約の方はご入場頂けます。

★ライブ 1,000円
5月10日(火)20時の後、ライブあり。
出演 南谷朝子 (Vo,Ag) きたそのまゆみ (key) ながはら元 (パーカッション)

受付開始○開演の40分前 開場○開演の15分前
開演直前・直後は(一時的に)ご入場を制限させて頂く場合がございます。



【清水邦夫プロフィール】
1936年 新潟県生まれ。
早稲田大学在学中に執筆した処女戯曲『著名人』で早稲田演劇賞とテアトロ戯曲賞を受賞。卒業と同時に岩波映画へ入社。1965年、フリーとなり本格的に劇作家の道を歩む。特に1960年代後半、演出家・蛸川幸雄氏とのコンビによるアートシアター新宿公演は新世代の圧倒的な支持を得る。
1972年 蛸川幸雄氏、石橋蓮司氏、蟹江敬三氏らと劇団「櫻社」を結成。
1974年 「櫻社」解散。
1976年 妻である女優松本典子らと演劇企画グループ(木冬社)を結成。
1977年6月戯曲『楽屋―流れ去るものはやがてなつかしき―』を「新劇」8月号に発表。1977年7月木冬社第二回公演として渋谷ジャン・ジャンにて上演。その後も、木冬社を中心に新作を発表するだけでなく、俳優座、民藝、文学座などに書下ろしを提供。また、戯曲のほかにも小説、エッセイなども手がける。



【梅ヶ丘BOX】
新宿より小田急線「区間準急」各停りで14分
「梅ヶ丘」駅下車 北口・南口徒歩1分
TEL:03-3426-6297
http://rinkogun.com/Umeaoka_Box.html

【通し券】
通し券：10,000円 全作品観劇可能
(基本的に各公演1回とさせて頂きます。「燐光群アトリエの会」のみ3回ご覧頂けます)

・「通し券」購入後は各グループに直接ご予約下さい。
・グループによっては追加料金、また予定数が限られています。

前売開始○4月4日(月)

【通し券/ライブ ご予約・お問合せ】

燐光群アトリエの会『楽屋』フェスティバル実行委員会 umegaokawws@gmail.com

TEL:080-3408-6594 FAX:03-3426-6594 http://rinkogun.com/

①件名:通し券購入(お名前/電話番号/最初のご希望日時)をお伝え下さい。

こちらからのお返事を以てご予約とさせて頂きます。

②当日、開演の10分前までに受付にお越し下さい。代金と引換で通し券をお渡します。

総合監督○坂手洋二

照明○竹林功(龍前正夫舞台照明研究所)

イラスト○三田晴代

宣伝意匠○高崎勝也

舞台協力○森下紀彦

協力○新井理恵(木冬社) Kamo's Factory

制作○『楽屋』フェスティバル実行委員会+古元道広 近藤順子 鈴木菜子

Company Staff○武山尚史 鴨川てんし 猪熊恒和 大西孝洋

杉山英之 宇原智茂 福田陽子 田中結佳 秋定史枝

鈴木陽介 長谷川千紗 西川大輔 宮島千栄 橋本浩明 秋葉ヨリエ

【清水邦夫作品上演許可 お問合せ】mokutousha.shimizukunio@gmail.com



18団体による『楽屋』の競演!

作○清水邦夫

流れ去るものはやがてなつかしき

楽屋

木冬社上演台本より



『楽屋』フェスティバル

燐光群アトリエの会



清水邦夫作『楽屋』流れ去るものはやがてなつかしき
1977年に初演されて以来、日本で最も多く上演されてきたこの名作を、愛し眷々フェスティバルを開催します!
木冬社出身の南谷朝子さんの協力のもと、18団体が入れ替わり立ち替わり、次々と登場。
音響・照明・セット、ほぼ共通の魅力的な顔ぶれが集まりました。
今回この企画に賛同し、数多くの魅力的な顔ぶれが集まりました。
14日間、計61ステージ。2時間おきの連続上演。
こんな演劇祭は、史上初です!
まさに百花繚乱。花咲き乱れるあまたの『楽屋』をお楽しみ下さい。